



## 今月のテーマ 「父の日」

これは知人の娘の話である。父の日か父の誕生日にシャツをプレゼントしたそうだが、父は照れ隠しなのかサイズが合わないなど、ずっと文句ばかり言っていたらしい。気分を害した彼の娘は「もう絶対父にはプレゼントをあげない！」と誓い、嫁ぐまでそれを実行したという。

しかしその父親は、行楽地で駐車場が2時間待ち(!?)の際、妻と娘を先に車から降ろして観光させ、自分は閉園1時間前でようやく入園したという涙ぐましい逸話も持つ。

我が家でも父親にプレゼントをしてもそつけない態度を取られたと娘が大いに憤慨していた覚えがある。どこのお父さんも娘には不器用なのか、としみじみ思った次第である。

(世田谷区在住K)



父のイメージというと「厳格な親父」、「優しいパパ」など思い浮かべる方も多いと思います。私の父のイメージは「いつも笑顔の父」です。父は仕事から帰ると、いつも満面の笑みで小さかった私を抱きかかえてくれました。仕事で疲れていた日もあったと思いますが、嬉しかったのと同時に子供ながらにどうしていつも笑っているのだろうと不思議に思ったものです。今自分が二人の娘の父となって、その気持ちが変わるような気がします。仕事で疲れていても、「おかえり」という声と元気な姿で自然と笑顔になるのです。きっとあの頃の父も同じ気持ちだったのだろうなあ。

今は75歳となりましたが、変わらぬ満面の笑みで帰省した私たち家族を迎えてくれる父をみると、懐かしさを感じつつ元氣になれます。

(たつのこ)

私がまだ小学校の頃の話です。我が家で初めて購入した車は、母に内緒で父が勝手に買ってきてしまったもので、新車ではありませんが父の自慢の車でした。

父の日に突然「今日は富士山を見に行くぞ!」と言うので、五合目まで車で登れると思い、楽しみにして行くと、河口湖インターチェンジを降りた瞬間、「富士山見えたか?」と言い放ち、富士山を拜んだらそのままUターンして家に戻ってしまいました。帰りの車で不機嫌な私とは違い、満足顔の父の表情を思い出します。

(神奈川県 50代 男性)

## 投稿大募集



次回8月号のテーマは「夏の思い出」です。夏の日にまつわる思い出やエピソードを300字以内で投稿して下さい。

★締め切りは6月30日必着です。

★文章を編集部で整理させていただく場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

★投稿には住所、氏名、年齢、電話番号、ニックネームを明記の上、郵便、FAX、Eメールで下記まで

郵便 / 158-8531

東京都世田谷区上用賀 6-25-1

「緑のひろば 緑の部屋 係」

FAX/03-3426-0326

E-mail/keiei-kikaku@kanto-ctr-hsp.com

※個人情報の取り扱いについて  
ご記入いただいたお名前、ご住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報は「緑の部屋」への掲載と掲載誌の発送以外には使用いたしません。個人情報の取り扱いについては「個人情報について」をお読みください。

[http://www.kanto-ctr-hsp.com/about\\_kch/privacy\\_policy.html](http://www.kanto-ctr-hsp.com/about_kch/privacy_policy.html)

私は東京生まれの東京育ちです。小学校一年の3学期の時に世田谷に引っ越してきました。当時父は親戚の会社で工事現場の仮設工事の仕事を請け負ってやっていました。その頃の写真(50年も前)ですが、当時のNHK技研でも仕事をしていたようです。昼休みだったのかりラックスして、笑顔で日焼けして今というイケメンです。でも私が5年生の時、入院先から外泊に戻ってきていた時に家で意識がなくなり、病院で亡くなりました。46年前の5月18日の事で、今は浅草のスカイツリーの見えるお墓に母と入っています。ちょうど浅草は三社様のお祭りです。父も天国で毎年神輿を担いでいると思います。(イケメン親父)